



令和4年8月2日（火）、熊本市議会の本会議場において『子ども議会（中学生運営研修会）』が開催され、熊本市内の市立・私立・国立の各中学校の代表生徒44名が参加しました。  
 新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。  
 今回は「全校生徒が本気で取り組む学校づくり～『校則』について考える取組を通して～」がテーマでした。「校則を考えることを通してよりよい学校づくりをめざす」ことが目的でした。  
 すべての生徒が「校則の見直し」に関心をもち意見を出せるにはどうしたらよいか等、自分の学校の生徒一人一人の声を尊重し、よりよい学校づくりをおこないたいという意見表明がありました。



研修(1)「児童の権利に関する条約」「校則の見直し」についての学習・研修 (2) 各ブロックでのグループワーク



研修(3) 本会議場でのブロックごとの意見表明

研修3の意見表明は、議会議場の壇上で行いました。各グループ一人一人の役割がきちんとあり一人一人がしっかりと意見表明ができました。深水副市長、遠藤教育長はじめ生徒の意見表明を聞いた方々に大きな感動を与えました。



【東部ブロック】

一人一人の意見が活かされる学校を作りたい。  
 校則を知るためのゲーム、クイズ、動画等を作成し、校則への一人一人の関心を高めて校則見直しを行いたい。  
 見直した校則について生徒へ説明する場を設けていきたい。先生方からの意見も取り入れ、校則に対して先生、生徒間で共通認識をもちたい。



【南部ブロック】

生徒一人一人のどんな意見も無駄にしない心構えが大切である。意見を聞き合うことで新しい考えや実践につながる。意見が言いやすい環境づくりをするために、校則の項目（服装、持ち物等）について興味のあるグループ分けをし話し合いを行う。  
 意見が対立した場合も、それぞれの意見のメリットやデメリットを考え、折り合いをつけていくことが大切である。



【西部ブロック】

(1)校則をみんなに知ってもらうために、漫画にしてみようか、みんなに見える場所に掲示してはどうか。  
 (2)意見をたくさん取り入れるために、タブレットを使うと集まりやすいのではないかと、きずなアンケートの項目に加えてみてはどうか  
 (3)決まった校則が守られるために、写真やイラストを使って基準をわかりやすくしてみようか、試行期間を設けて困る人はいないかを確かめてみてはどうか。  
 アイディアを生かして、みんなが安心して過ごせる学校づくりを目指していきたい。



【北部ブロック】

多様性を尊重する校則づくりを行いたい。少数派の人が暮らしやすいルールはみんなにとっても暮らしやすい。多様性を理解するために、匿名のアンケートを実施し、小さな声も拾って校則づくりをしていきたい。  
 体育服のように性別関係なく着ることができる第3の制服ができればいい。さらに多様な意見を引き出す3T〔(1)Tweet (ICT機器を活用したアンケート)、(2)TSP三者合同会議 (教師 (T)、生徒 (S)、保護者 (P))、(3)Try (校則のお試し期間の実施)〕を提案したい。

